



保育目標		個々の生活リズムを大切にし心豊かに過ごす			
年間区分		I期(4月~5月)	II期(6月-8月)	III期(9月-12月)	IV期(1月-3月)
子どもの姿		○新しい環境に戸惑い不安で泣いている ○環境や保育者に少しずつ慣れ、安心して好きな遊びを楽しむ ○楽しい雰囲気の中で友だちや保育者と一緒に喜んで過ごす	○生活リズムに慣れ、一日の保育の流れに沿って保育者と一緒に生活することができる ○身近な自然物への関心が増し、砂や水で喜んで遊ぶ	○保育者と親しみ関わりながら遊ぶ ○周囲の環境に興味を持ち、言葉や体を使って伝えようとする ○友だちとの関わりが増え、一緒に過ごすことができる	○安定した環境の中で探索活動を通して、色々な人や物に触れて楽しむ ○身の回りのことを自分でしようとする ○進級に向けて期待感が高まる
ねらい		○一人一人の生活リズムを把握し、無理なく新しい環境に慣れるようにする	○一人一人の要求や思いを、笑顔で言葉やスキンシップにより受け止めることで、保育者への信頼関係を育てる	○個人差に留意しながら、一人一人の発達に合った表現活動や全身運動が十分にできるようにする	○一人一人の子どもの生理的欲求や気持ちが高まるようにし、次年度への生活リズムへと移行できるようにする
養護	生命の保持	○一人一人の生活リズムを大切に受け止めてもらいながら、安全かつ清潔な環境の中で健康でゆったりと過ごせるようにする ○ありのままの子どもの姿を受け入れ、スキンシップなどの関わりの中で信頼関係を築き、安心して過ごせるようにする	○一人一人が安心できる環境の中でゆったりと過ごし、健康で快適な生活ができるようにする ○安心できる環境の中で話したいことを話したり、身近なものに興味や関心を持ち、自分から関わろうとする気持ちを大切に	○気温差や体調に留意し、衣服の調節や水分補給を行うと共に、基本的な生活習慣を一人一人に合わせて援助し、健康に過ごせるようにする ○思いや欲求を丁寧な受け止めの中で、安心して自己主張をしたり、一人一人が思いや力を出せるようにする	○健康観察を十分に行い、衛生や健康に気を配ると共に生活リズムが少しずつ身に付き、食事、睡眠、排泄等が介助のもと喜んで自分でできるようにする ○保育者や周りの友だちと過ごすことで安心し、関わりを楽しめるようにすると共に、一人一人の成長を認め、満足感や達成感を味わえるようにする
	情緒の安定	○外気に触れる心地良さ、のびのびと手足を動かす楽しさを知る ○手足や体に優しく触れたり、言葉をかけられたりして、喃語を発する ○音の出る玩具や柔らかな素材の物に興味を持ち、手を伸ばして遊ぶ	○安心して環境の中で体を動かして遊ぶ ○保育者の言葉に反応し喃語で答えたり表情で感情を表す ○気に入った玩具や絵本に繰り返し触れる	○戸外での風の心地よさや光の眩しさなどを体感する ○保育者の歌に合わせて体を揺らしたりリズムをとったりして体を動かして楽しむ ○身近なものに興味や関心を示し、見たり、触れたりする	○探索活動などを楽しみながら十分に体を動かして遊ぶ ○保育者の言葉を真似ようとして、好きな歌の歌詞の一部を大きな声で歌ったりする ○歌や音楽に興味を持ち、身近な素材で音を鳴らすなどして楽しむ
教育	乳児	健康 人間関係 環境 言葉 表現	○トイレでの排泄に慣れる ○汗をかいたら拭く、着替えをするなど暑い日の過ごし方を知る ○水遊びや汗をかいた後のシャワー浴等をして、気持ちよく過ごす ○保育者等や友だちとの関わりを楽しむ ○好きな絵本を繰り返し見たり、簡単な言葉の模倣を楽しむ ○生活や遊びに必要な言葉が分かり、自分の言葉で伝えようとする ○音楽に合わせて歌を唄ったり、簡単な楽器遊びを楽しむ	○身の回りのことを自分でやってみようとする ○友だちの存在を意識し、関わろうとする ○散歩や戸外遊びを通して秋の気候を楽しむ ○空の色や木の葉など自然物を通して秋を感じる ○保育者等や友だちに簡単な言葉や指差しで思いを伝えようとする ○友だちとの会話を楽しむ ○楽器遊びを通して簡単なリズムを楽しむ ○さまざまな素材や活動を通して、繰り返し楽しむ	○身の回りのことを、自分からしようとする ○戸外から帰ると手洗い、うがいを自らやろうとする ○寒さに負けず、戸外でたくさん体を動かして遊ぶ ○好きな遊びをじっくり楽しみ、友だちと一緒に遊ぶことを喜び ○冬の自然事象に関心を持ち、雪や氷に触れて遊ぶ ○身近なものに好奇心を持つ ○遊びの中で、言葉を使うことを楽しむ ○歌や踊り、様々な素材遊びなどを通してのびのびと表現する
	1歳以上	健康 人間関係 環境 言葉 表現	○楽しい雰囲気の中で食事をすると、おいしく食べられることに気付く ○旬の食材を味わう ○友だちと一緒に栽培した野菜を味わう	○皆で楽しく食べる中で、食事に対する思いや好き嫌いにも変化がでる ○旬の食材を味わう	○自分で食べる喜びやおいしさを楽しむ時間を持つ ○お正月・ひな祭り等季節の料理を味わいその意味を知る ○旬の食材の味やおいしさを知る
食育		○楽しい雰囲気の中で食事をすると、おいしく食べられることに気付く ○旬の食材を味わう ○友だちと一緒に栽培した野菜を味わう	○皆で楽しく食べる中で、食事に対する思いや好き嫌いにも変化がでる ○旬の食材を味わう	○自分で食べる喜びやおいしさを楽しむ時間を持つ ○お正月・ひな祭り等季節の料理を味わいその意味を知る ○旬の食材の味やおいしさを知る	
健康・安全		・家庭状況・生育状況・健康状態の把握・定期健康診断(年2回)・身体測定(月1回)・日々の視診異常が認められた時の対応・感染症情報共有 ・避難訓練(火災・地震・緊急時・不審者)・消防設備点検・安全点検(室内・室外)・インシデントレポート各種の記録と共有・玩具の消毒			
自然共育		○春の風や花々の匂いを感じ、戸外で自然に触れる ○土いじりや草花摘み等、触れて感触を味わう ○動植物との出会いから興味を持てるようになる ○種まきや苗植えを通して、生長を楽しみにする	○保育者の言葉や口ずさむ歌等を聞きながら、生き物との関わりをもつ ○散歩の途中、畑の野菜や草花の様子を見て生長を楽しむ ○戸外で見つけた昆虫・動物・鳥等に興味を持ち観察する ○育てている花や野菜の成長と収穫を楽しむ ○夏の日差しや雲等、季節の特色を知る	○秋から冬への季節の変化(植物・風・空等)を保育者と共に感じていく ○散歩で見つけた、発見したものを集め(木の葉・種・落ち葉等)表現活動で活かす ○秋の自然の美しさや空の色の変化等生活の中で季節を楽しむ	○冬の歌を歌ってもらいながら窓の様子や雪景色を楽しむ ○寒い朝の発見や感動(白い息・霜柱・氷等)を活動に活かす ○寒さの中で息づく自然の春への準備の様子、早咲きの花・畑の様子等を見る
環境設定・配慮		○新しい環境になり、不安定になることが予想されることから、落ち着ける場所の確保やコーナー遊び等、生活や遊びの場面などの設定の仕方に留意する ○新しく入所した子どもたちは不安も強いことから、スキンシップを多くし、しっかりと寄り添い気持ちを受け止めていく ○子どもや保護者との信頼関係を築いていく ○新しい環境に慣れるまで、家庭との連絡を密にとり、一人一人の生活のリズム及び健康状態を把握する ○子どもに対する保育者同士の連絡を密にし、協力して安定を図る ○室内環境の管理(換気・温度・湿度・照度等)	○プールや沐浴など暑い時期ならではの環境を整え、楽しく快適に過ごせる工夫をする ○温度・湿度などにより不快を快に、衣服の調節をする ○暑さで疲れやすくなるので、休息や水分を十分にとる ○朝、午睡前の視診をしっかりと行い、熱中症等、体調管理に留意する ○基本的な生活習慣において自分でやってみようとする意欲が出るよう、励まし、見守り、認める ○室内環境の管理(換気・温度・湿度・照度等)	○様々な素材(雑材・絵本・紙芝居・歌等)や興味をもちそうなものを用意し、色々な体験・経験の場を設ける ○戸外遊び(秋の自然との関わり等)にいつでも出られる様、準備を整えておく ○皆で楽しめる共通の時間を生活の中で意識的に取り入れる ○手洗いうがいの習慣が身に付くよう、毎日丁寧に行う ○季節の変わり目に伴い衣服の調節や気温の変化に配慮する ○発達段階に応じた友だちとの関わり・遊びの配慮をし、保育者同士で共通の理解や対応を心がける ○室内環境の管理(換気・温度・湿度・照度等)	○戸外遊び以外でも室内で体を動かせるよう、室内環境を整える ○同じ遊びでも、異年齢毎にねらいが持てる環境・素材・働きかけ等をコーナーを設定するなどして整える ○一人一人の育ちを見直し、遊びへの興味や生活習慣等、成長の課題を再認識する ○同じ遊びでもそれぞれに合った働きかけ・見通しを持って関わる ○感染症の流行時期なので、手洗いうがいの実行とマニュアル対応の徹底を保育者同士が共通認識で対応する ○部屋の温度・湿度や衣服の調整をこまめに行う ○室内環境の管理(換気・温度・湿度・照度等)
行事(健康診断等)		○お花見 ○こどもの日 ○健康診断 ○遠足	○プール遊び ○夏祭り	○おひもほり ○健康診断 ○クリスマス会	○お正月 ○節分 ○ひな祭り
保護者等への支援		・育児相談 ・おたより ・保護者の行事参加			
自己評価					

養護：生命の保持/情緒の安定  
教育：(乳児)3つの視点 (1歳以上)健康/人間関係/環境/言葉/表現